



どちらの自分ですか？

校長 押野 隆一

右の詩は相田みつをさんが書かれたものです。この詩は、この人とならどこにでも一緒に行きたいと思う、反対に、この人とはどこにも行きたくないと思う、さて自分はどちらの人に見られているか、を見つめなさいと投げかけられる感じがします。そして、自分を客観的に見たらどう見えるかしっかり見つめ直すことが大切だと考えさせられます。その時に必要なことは内省というものです。内省とは自分の考えや言動、行動について深く省みて、ものごとを別の角度から見ることで本質を見極めることです。反省に似ていますが、反省は自分のやったことを悔いる意味に使われることが多いようです。内省は、本質を見極め自己の長所や短所、改善点を見付けるところまでを含む点で反省からもう一歩進んでいます。自分の本質は何なのかをしっかりとらふことで他との良い関係を築くことができるのです。組織では、内省を繰り返すことによって自己の経験を振り返り続け、そこから新しい発想に至る可能性もあり、それまで気付かなかった対応やコツをつかむことで改善や効率化ができるとも言われています。

あの人がゆくんじゃ わたしはゆかない
あの人ゆくなら わたしもゆく
あの人 あの人
わたしは どちらのあの人か？

内省や反省の「省」の字は、「はぶく」という意味をもっています。「はぶく」は、効率化につながる意味を含むのではないかと思います。無駄なものを省き、対応のスリム化を図ることです。本校でも校務のスリム化を目指して校務改善に取り組んできました。改めて校内を見直し、例えば会議のペーパーレス化を進めてきました。今後も見直すべき部分があり、さらに改善を図る必要があります。今年度はコロナウイルスの感染拡大によって学校も大きな影響を受けてきました。2カ月間の休校でできなかったことを補うため、年間計画や単元計画に今までにない精選と重点化を図ることができたと思います。ものごとを省みて、無駄なものを省き、新たなものを創造していくことが大切だと気付いた1年だったと思います。

この学校だよりが発行される2月1日に特色ある学校づくりについて、来年度の提案をさせていただきました。今の状況を乗り越えるためにも、2030年を生き抜く力を育成するためにも「アイでつながる学校づくり」を進めていきたいと思っています。

「ヒト・コト・モノ」とつながることの大切さ 特色ある学校づくり委員会担当 川原 未来

「アイ」をキーワードとし、様々な「つながり」を意識して行ってきた今年度の教育活動。本校ならではの特色ある活動は、1・2年生の「森のつみき」、2～4年生の「宇宙の学校」、5・6年生の「南極の話」・「プログラミング・ロジカルシンキング」、そして全校で取り組んだ「航空写真」では、児童の夢を宇宙に届けるという大きなプロジェクトにも加わりました。活動を通して児童は、実際に「経験する・体験する」中で、多くの知識や考え方を得ることが出来ました。それらは、周りとの「つながり」を意識していくことで、更なる知識や考えへと広がっていきます。2030年の未来を担う子供たちが、これからも「ヒト・コト・モノ」と関わっていくことの大切さを実感していけるよう、今後も教育活動を行って参ります。

2月の予定

スクールカウンセラー来校 ☆浦山
校庭開放については、当日、門の表示をご確認ください。

	曜日	校庭開放	カウンセラー	主な予定		曜日	校庭開放	カウンセラー	主な予定
1日	月			6時間授業(4～6年生)	15日	月			6時間授業(4～6年生)
2日	火		☆		16日	火		☆	
3日	水	PM		B時程 5時間(1年生) 6時間(2～6年生)	17日	水	PM		B時程 委員会(5・6年生)
4日	木				18日	木			
5日	金			B時程 新1年生保護者会 4時間(1・2年生)	19日	金			B時程
6日	土	AM			20日	土	AM		
7日	日	PM			21日	日	PM		
8日	月			6時間授業(4～6年生)	22日	月			6時間授業(4～6年生) 避難訓練
9日	火				23日	火	AM		天皇誕生日
10日	水	PM	☆	B時程	24日	水	PM		B時程 クラブ
11日	木	PM		建国記念の日	25日	木			
12日	金			B時程 短縄月間(終)	26日	金			B時程
13日	土			特別時程 土曜授業 4時間	27日	土	PM		特別時程 土曜授業 3時間
14日	日	PM			28日	日	PM		

2月の生活目標

生活指導担当 池田 勝貴

「健康に注意しよう」

寒さも厳しさを増し、空気も乾燥した今の季節は風邪やインフルエンザ等の感染症が流行する時期です。今年度は、一人一人が感染症対策を意識し、我慢強く取り組んでいます。手洗い・うがい、マスクの着用、咳エチケットなど、対策を徹底することが、自分だけでなく、周りの人の健康を守ってくれます。それでも体調を崩した場合は、できるだけ早く医師の診療を受け、しっかり休養を取ってください。

また、元気なときは、縄跳び等で体をきたえ、寒さに負けない体力作りを心掛けていきましょう。ご家庭でも、引き続きご協力よろしくお願い致します。

短縄月間について

体力向上担当 森本 拓海

今年度から持久力向上や基礎的な筋力を身に付けるという目標で、短縄月間を行います。

短縄には運動に生きる様々な力の向上が期待できます。体力の向上の仕方も、時間を決めて長時間跳んだり、たくさんの技に取り組んだりと楽しんで活動することができます。各教員で工夫をし指導していきます。月間中は、奨励という形ですが、上学年・下学年それぞれ決められた日には全員で活動します。

期間：1月25日(月)～2月12日(金)

1・2・3年生：火曜日の中休み

4・5・6年生：金曜日の中休み

ご家庭でも子供たちへの励ましの言葉をお願いします。
※短縄の準備をしてください。また、できるだけ家で短縄の長さの調整等のメンテナンスをお願いします。